

第8回黒潮町地区防災計画シンポジウム

11月5日(土)、総合センターで「第8回黒潮町地区防災計画シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムでは、三浦小学校や市野々川地区、奥湊川地区からの活動報告が行われました。また、平成30年の7月豪雨災害で被災地支援を行った「愛媛県女性と防災の会」の小國恵子会長から、避難所での女性や高齢者、障がい者への支援について話がありました。

パネルディスカッションでは、「多様な視点から地区防災を考える」をテーマに5名が登壇し、地区防災計画についてや、災害時の地域間連携について議論しました。被災地からの報告およびパネルリストを務めた小國さんは、「たくさんの方がシンポジウムに来てい



パネルディスカッションの様子

て、町の方の防災意識が高いというところが実感できました。とても刺激を受けた1日だった」と話しました。

FC KUROSHIO 84が全国大会準優勝

FC KUROSHIO 84が、10月29日(土)～11月1日(火)にかけて三重県で開催された「第29回全国クラブチームサッカー選手権大会」で準優勝を果たしました。

高知県のチームが全国大会で入賞するのは平成12年以来、22年振り。11月10日(木)には、同チームの久保田聖也監督、キャプテンの宮本敬太さんが町長らへ報告に訪れ、試合の様子やチームの今後についてなどを語りました。

松本敏郎町長は、「全国に出ること自体すごいことだが、そのなかで準優勝するのもなかなかできないこと。これからもサッカーを続けて、町民を勇気づけていってほしい」と話しました。



左から、松本町長、宮本さん、久保田監督、西村副町長

宮本さんは、「1試合1試合を全員で全力で戦った結果。チームの力を感じられる大会だった」と話しました。

まほろば Vol.20 くるしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



FC KUROSHIO 84 監督 久保田 聖也さん

今年10月29日(土)～11月1日(火)の4日間、三重県で開催された「第29回全国クラブチームサッカー選手権大会」で準優勝を果たしたFC KUROSHIO 84。現在チームには町内外から計31人、19歳から50歳まで幅広い年代の選手が所属しています。「楽しくやる」をモットーに活動する同チームの監督・久保田さんに話を聞きました。

全国大会を振り返ってみての感想は?

準優勝という結果で終われたことは素直に嬉しかったです。まさか決勝戦まで進むとは思っておらず驚きました。選手みんなは本当によく戦ってくれたと思います。県大会、四国大会、全国大会と進むなかで、PK戦(※サッカーで規定の試合時間を終了して決着がつかなかった際に行うもの)で勝利できたことが何度かあり、運も味方してくれたと感じますね。

監督として大事にしていることやこだわりは?

やっぱり「楽しむこと」。人から強制されてやるのではなく、楽しいから自然とやってしまう。そういうチームにしたいし、そういう選手が増えたいと思っています。あとは、プレイの内容も強制しないようにしています。選手の手持っているイメージがあるなり潰したくない、のびのびとプレイしてもらいたいと思っています。



練習の様子

今後の目標は?

年間を通してしっかり戦える組織作りをしながら、現在の高知県リーグより1ランク上の四国リーグに挑戦してみたいですね。黒潮町はサッカーに適した環境が整っています。今後、昔のようにまたサッカーの町として盛り上がってほしいです。



全国大会準優勝時のFC KUROSHIO 84の皆さん